

【11月は児童虐待防止推進月間】

見逃していませんか？ 子どもからのSOS

児童虐待に関する相談件数は年々増加しており、我が子を死に追いやる不幸な事件が起きるなど、とても深刻な問題となっています。

虐待は家庭という密室で起こるために見付かりにくく、周囲の大人たちが子どもを出すSOSサインに気付くことが唯一の救いとなります。

あなたの身近にもSOSサインを送っている子どもがいるかもしれません。

問い合わせ推進課子ども係 ☎443120

児童虐待は、どうして起こるの？

親は、生まれた時から子どもを傷つけようとして育ててはいません。子どもを生み育て、成長を支えていくことは大きな喜びです。

しかし、それと同時に、子育てに対して様々な不安やストレスを感じています。

児童虐待は、親や家庭がかかえる社会的、経済的、心理的、精神的な様々な事柄が複雑に絡み合っ起こっています。家庭崩壊の中で起こるもの、社会状況や家族の形・質の変化、地域社会の変化など現代的な子育てに対するプレッシャーに耐えきれず起こるものなどがあり、最近では、親がプレッシャーに耐えきれず子どもを虐待するケースが増えています。

児童虐待は、特別な人・特別な家庭だけの問題ではありません。「いつでも」「どこでも」

「どんな人でも」起こりうるものになります。

児童虐待発生の3つの要因

- 親側の要因：親の虐待体験、社会的孤立、誤った育児信念、病気など
- 子側の要因：育てにくい子（多動など手が掛かる子、挑戦的な子）など
- 家庭生活からのストレス：経済困窮、夫婦不和、育児負担、地域からの孤立など

しつけと虐待の違い

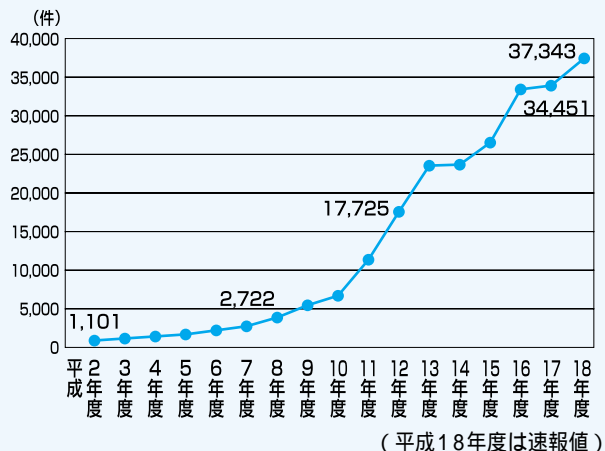
児童虐待を考えるうえで大切なことは、「子どもの心身の安全を守ること」です。「しつけ」や「良い子にするため」という親の意図は関係ありません。子どもにとって有害で子どもが苦痛を感じていれば、それは虐待になります。

気付いてください！
虐待を受けている子どもからのサイン



- 不自然な傷や打撲のあとがある
- 着衣や髪の毛がいつも汚れている
- 風呂に入っている様子がない
- 表情が乏しい
- おどおどしている
- 落ち着きがなく、乱暴になる
- 親を避けようとする
- 夜遅くまで1人で遊んでいる

【全国の児童虐待に関する相談件数の推移】



資料：厚生労働省「児童虐待防止対策の動向について」

そんなつもりでは
なかった...

でも、子どもにとって有害ならそれは「虐待」




心理的虐待

言葉によるおどし、脅迫、無視、きょうだい間の差別的な扱いなど。

ネグレクト

家に閉じこめる、病気やケガをしても病院に連れて行かない、適切な食事を与えない、ひどく不潔なままにする、自動車内や家に置き去りにするなど。




性的虐待

子どもへの性交、性的行為の強要、性器や性交を見せる、ポルノグラフィーの複写体に子どもを強要するなど。

身体的虐待

なぐる、ける、おぼ^{おぼ}れさせる、異物を飲ませる、戸外に締め出す、など。



「もしかして、虐待!？」と思ったら
お電話をお願いします！

- ◇連絡は匿名でも構いません。
- ◇連絡した方のプライバシーは守られます。

市役所しあわせ推進課子ども係
☎44-3120（休日・夜間 ☎43-2111）
市家庭児童相談室（中央子育て支援センター内）
☎44-3161（月・水・金曜日 午前9時～午後4時）
（火・木曜日 午後1時～7時）
（第2・4水曜日、祝日は不在）
県西部児童相談所 ☎053-451-4199
磐田警察署生活安全課 ☎37-0110

緊急でない時

緊急を要する時

在宅援助

- ・相談（来所・電話）
- ・家庭訪問
- ・治療
- ・子どもへの援助

虐待者からの分離

- ・一時保護
- ・入院
- ・施設入所など

児童虐待を防ぐために

虐待は、子どもの心や体を傷つけ、将来に渡って深刻な影響を与えます。

市や県には、子育ての悩みなどを身近に相談できる子育て支援センターや乳幼児学級などがあります。ひとりで悩まずに、気軽に相談してください。

また、児童虐待を起こさない、起こさせないようにするには、子どもたちを社会や地域で守り育てるという意識が大切です。児童虐待が疑われる時は、市役所や児童相談所、警察などへ速やかに連絡してください。職員が事実確認した後、関係機関で子どもを保護したり、安全を確保したりします。あなたの連絡が子どもの命、そして未来を守ることになります。

＜子どもを虐待から守るための5か条＞

- 「おかしい」と感じたら迷わず連絡
- 連絡（通告）は、国民の義務です
- 「しつけのつもり...」は親の言い訳
- 子どもの立場で判断しましょう
- ひとりで抱え込まない
- あなたにできることから実行しましょう
- 親の立場より子どもの立場
- 子どもの命が最優先です
- 虐待はあなたの周りでも起こります
- 特別なことではありません